



2023年 9月
第32号

発行：社会福祉法人 紫雲会
住所：大分県豊後大野市
三重町本城2050番地
TEL：0974-24-0011
FAX：0974-24-0055

ホームページ
<http://siunkai.com>

「誠実・信頼・貢献」の原点に立とう



理事長 渡邊 円世

本年六月の理事会及び評議員会を経て、引き続き理事長を務めさせていただきますこととなりました。従来同様皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

今、世界は昨年二月のロシアのウクライナ侵攻以降、ロシア・中国等とわが国や欧米諸国等が対立し、軍事面で不安な時代を迎えています。その解決の見通しが全く見えず、核兵器の脅威も増しています。この影響により世界規模でエネルギーや食糧の確保が大きな課題になりつつあります。

わが国においては、エネルギーや食糧の価格上昇、国や地方公共団体の多

額の借金、貿易収支の悪化等経済財政面で厳しさを増しています。

さて、紫雲会は昭和四十五年四月の紫雲荘開設から五十三年が経過しました。その二年後には三国寮、さらに二年後に本城苑が開設されました。来年四月一日には本城苑が五十周年を迎えます。開設には行政や地元有志の方々の大変なご努力がありました。以来、たくさんの方が利用者が信頼を寄せて下さいました。また、国、県、三重町、合併後の豊後大野市等行政関係者のご支援ご協力が継続しておこなわれました。また先輩職員のためまぬ研修、研鑽の努力があります。さらに医療関係者、

たくさんの方々のボランティアの方々の温かいご支援により今日の紫雲会があります。

近年はコロナ禍のため、利用者の面会は窓越し等大変不自由をおかけし申し訳ない限りです。五類に移行しましたが、福祉、医療の分野では引き続き要注意とされ、制約が続きます。御理解のほどお願いいたします。

あらためて紫雲会の基本理念である誠実、信頼、貢献の原点を常に思い起こし先人の御恩に報いたいものです。これにより、職員、利用者が共に笑顔で穏やかに過ごし、地域の皆様に愛され続ける社会福祉法人であることを願っております。

最後に、現在一番おきな課題は若い人材の採用です。福祉を目指す意欲ある方、いつでもそれぞれの施設長にご相談いただければ幸いです。



理事会・評議員会を開催 決算並びに事業報告を承認 理事長に渡邊円世氏を選定

令和五年六月八日に第一回理事会を、六月二十三日に第一回評議員会を開催し、令和四年度の事業報告並びに決算報告が承認されました。

理事会・評議員会ともに、新型コロナウイルス感染症の影響に関する議論や、特に通所介護に関する経営改善策、更には人材確保の重要性などについて議論が交わされました。

また、今回は定時評議員会の終結と同時に理事・監事の任期が終了することから、評議員会において新理事、新監事が選任され、続いて開催された第二回理事会において、理事長には渡邊円世氏が全役員の総意により再び選定され、向こう二年間の執行体制が確立しました。

国や地方自治体の財政が苦しいことに加え、福祉のニーズも益々多様化する中で、紫雲会のサービスを利用される方・そこで働く人・地域の方々、社会福祉法人が守るべき対象を再認識し、更なる進化を確認いたしました。

法人研修会を開催

育児・介護休業法の改正について学ぶ

男性の育児取得率の低いことや、介護離職を防止することなどを目的に改正された育児・介護休業法。その改正内容や運用のあり方について、大分働き方改革推進支援センターより社会保険労務士の那賀氏を講師にお招きし、研修会を行いました。当日は管理職をはじめとする、各部門の指導的立場にある職員が一堂に集まり、人材の定着に向けて、安心して働ける職場環境と法律の趣旨について学びました。



食中毒予防に向けて衛生講話を開催

大分県豊肥保健所衛生課より、管理栄養士の古澤さんを講師にお招きし、食中毒予防に関する衛生講話を開催しました。

厨房職員を中心に、各事業所より多くの職種の方が参加し、食中毒の発生メカニズムや、手洗いを中心とした基本的予防策について、クイズ形式を取り入れながら詳しく解説していただきました。



特別養護老人ホーム紫雲荘

夏祭り

8/22に1階ユニット、8/24に2階ユニットにおいて夏祭りを行いました。職員が台車に乗った神輿を曳き回し、最後はみんなで盆踊りを踊りました。「綿菓子が美味しかった～。」「お神輿は迫力があって面白かった～」などの声が聞かれ、綿菓子を4回食べに来た方もいて、皆さん、とても喜んで下さいました。



のど自慢大会

7/25に1階ユニット、7/26に2階ユニットと2日間に分けて開催しました。日ごろの練習の成果を発揮し、大きな声で元気良く歌うことができました。「楽しかった。」「また参加したい。」と、とても盛り上がっていました。



盲養護老人ホーム三国寮

7月28日

たくさん取れたかな

夏のお楽しみ会で4つのゲームを催しました。特にお菓子の詰め放題では、時間になってもお菓子をコップに入れようとする方もいて、大盛り上がりでした。



8月21日

夏はこれ!

利用者会会長の西田さんより「今夜はしっかりと食べて、暑い夏を乗り切りましょう。乾杯!」で始まったビアホール。メニューはから揚げ、串物(牛、鳥、豚、海鮮)、焼きナス、フルーツ等々。寮長お手製の焼きそばを食べて「最高です」と笑顔で言ってくれる方も。おなか一杯になった後は、自慢の喉を披露され大いに楽しみました。



かき氷

8月3日

蜜の種類はブルーハワイ、いちご、宇治金時で、お好みでバナラアイスもトッピングしました。「子どもの頃に行った夏祭りを思い出すなあ」と懐かしそうに話している方もいました。



障害者支援施設本城苑



ゆづあいスポーツ大会

コロナ禍で中止となっていた「ゆづあいスポ」が4年ぶりに開催されました。午前中のみではありましたが、ソフトボール投げや、立ち幅跳び、フライングディスクなど、得意競技に参加され、汗を流しました。来年も多くの利用者さんが参加できるように、体力作り頑張りたいと思います。



誕生日外食

コロナウイルスも落ちつき、通常の生活に戻って、「誕生日外食」を再開しました。その月の誕生者は、担当支援員と「すし虎」へ出かけ、お寿司や天ぷらに舌鼓。その後、欲しい物を購入し、大満足の一日になったようです。



供養踊り

今年初の試みとして、お亡くなりになった利用者さんの供養踊りを行いました。OBの方に見本になっていた、三重音頭となかよし音頭を踊りました。最初はぎこちない方もいましたが、終わるころには皆さん、楽しそうに上手に踊っていました。



夏祭り

今年は、Be 하우스、ぼっけと合同で、夏祭りを開催しました。とても暑かったですが、ヨーヨーすくいや、ラムネ一気飲みで大歓声、かき氷やカレーを美味しく頂き、皆さん盛り上がりしていました。



特集1.自然災害と医療・福祉専門職の役割

DWAT(災害福祉支援チーム)メンバーに聴く
被災地における支援活動



三浦看護師長

三浦 自分は今回リーダーという立場で派遣されましたが、チームがお互いに初対面のメンバーで、そういう意味では自分の役割として難しい面も感じましたが、とにかく、避難者は不安や心配事を抱えた人ばかりなので、話をよく聴くこと、傾聴する姿勢を大切に考えました。又、避難している人の中には目を離すといなくなってしまうような人もいて、見守りも活動の中の一つでした。

神志那 避難所はお風呂が無くて、市が温泉券を配っているのですが、なかなか入りにくい人もいて、理学療法士の方が温泉まで同行したりしていました。

三浦 大分大学が提供したロボットがあつて、決まった時間になったら、ロボットがみんなの前に出てきて、体操をするよう呼びかけたりするのが印象的でした。

司会 活動中に戸惑つような事はありましたか？

三浦 避難している人の中には途中から自分

司会 7月の豪雨災害で、大分県では日田市と中津市を中心に甚大な被害が発生しました。今回、お二人はDWAT(災害福祉支援チーム)の一員として日田市の避難所で被災者の支援に当られました。まず、現地で見えた被害の様子はどのようなものでしたか？

三浦 直接被災地に行つて、一言で大変な災害という印象でした。場所によっては三回目の被災という人もいて、避難指示が解除されていない中ではボランティアも入ることが出来ないという状況でした。

司会 避難所では具体的にどんな活動をしていましたか？

神志那 大分県で初めてのDWATによる活動とあって、私を含めてチーム全員がDWATの役割というものが十分に理解できていない中での活動でした。若い人は避難所から仕事に行く人もいて、私たちは主に高齢の方への対応でした。ダンボールベッドに寝ているので、肩や腰の痛みなど、体調に関する相談が多かったです。アセスメント無しに対応することの難しさも感じました。



神志那相談支援専門員

神志那 避難所は親戚の家に身を寄せたりする人もいて、避難者の把握というか、今現在、この避難所に何人の方が避難されているのかが分からないという事はありました。

神志那 限られた時間の中で、悩みや困りごとを聴くことに専念するしかない状況でしたが、一番重要な生活再建、特に仮設住宅などに関する情報は、地元市の職員でないと対応できない問題で、そういう意味では、行政とDWATの役割分担みたいなものを整理しておく必要を感じました。又、手を出しすぎて本人の自立を損ねるので、その点は気を配りました。

司会 DWATの派遣は大分県としては今回が初めてでした。派遣のあり方などを含めて、活動全体に関する感想があつたら教えてください。

三浦 DWATに登録する職種としては医療系と福祉系の有資格者となっておりますが、支援のタイミングとしては、避難してすぐの頃は、心や体のケアが最優先で、そこには医療系の専門職が適切な対応ができると思つし、避難生活が落ち着いてきて、その後の生活相談という点では、社会福祉士やケアマネジャーなどの専門性が活かされると思いました。

神志那 これまで自分でもDWATの活動が明確に分かつていなかったけど、なんとなく個人任せのような面があつたと感じています。派遣された人が安心して活動できるように、法人としても主体性を発揮して、登録メンバーのバックアップをしていただければと思います。

司会 今日は忙しい中、時間を割いていただき、貴重なお話を有難つございました。

紫雲荘看護師長 三浦正典さん、サライ相談支援専門員(保健師) 神志那久美さんのお二人に、被災地での支援活動を通じて、その内容や課題についてお話を伺いました。



特集 2. 障がい者の就労を支える現場からの報告

障がい者に働く喜びを 作業所のサービス管理責任者に問う

障害福祉サービスを提供する事業所で利用者の支援計画を作成する業務を担うサービス管理責任者。略して「サビ管」。

今回、障がい者の就労継続支援を行う本城苑作業所Beハウスの安藤サビ管に、現場の様子や仕事の魅力などについて取材した。

作業所には現在、一日平均一八名の利用者が通い、働くことを通じて自立や社会参加を目指している。仕事は主に農業で、季節の野菜を作ったり、個人や企業の委託で行う草刈り作業などが中心。他にKDSの下請けでカッターナイフの組み立てや、年末には門松作りも請け負っている。

パートを含めて七名のスタッフが、利用者の障害特性や作業の適性を見極めながら、そ



市の委託で行う道路の草刈り

れぞれに適した仕事をサポートし、作業能力の向上と同時に日常生活の相談や助言を行っている。

作業所の一日は八時からのスタッフによる利用者の迎えに始まる。ミーティングでその日の作業内容や役割分担などを確認して九時に作業開始。作業終了は午後四時で、その後スタッフは利用者を自宅まで送り届ける。

サビ管として配慮している点を尋ねると、「二人ひとりの得意なことがあるので、そこを伸ばして、自信をつけてもらいたい。」と語ってくれた。

利用者が働いて得る工賃は、平均で月におよそ二万円ほど、大分県内では平均的な水準だが、更に上を目指している。

市の自立支援協議会で就労部長も務める立場から、障がい者の雇用については、企業側の理解がまだまだ不足していると感じている。

最後に今の仕事の魅力を問うと、「利用者



サービス管理責任者 安藤崇裕さん

さんは障がいの特性も暮らししている環境もみんな違う。その違う一人ひとりに計画作成や作業を通じて寄り添うことは、魅力であると同時に勉強だと思っ



人参の種まき

る。」と語ってくれた。

話を聴くと、作業所のスタッフの多くはもとも農業経験者ではない。障がいを理解し、農業を学び、販路を拓いていく。容易ではない道の向こうにある利用者の喜びこそが、彼らの喜びでもあると感じた。

監事交代のお知らせ

神田 武氏



六月の定時評議員会において、長く紫雲会の監事を務めていただいた神田武氏が任期満了で退任され、新たに玉田三平氏が監事に選任されました。

玉田 三平氏



神田氏には平成二十四年の監事就任から今日まで、適正な法人運営に向けてご指導いただきました。

尚、佐藤壹代明氏(税理士)には引き続き監事を務めていただき、玉田氏との二名体制で、紫雲会の健全経営に向けてご指導頂きます。

職員募集のお知らせ

社会福祉法人紫雲会では、来年度新卒採用に加え、中途採用(60歳まで)も随時募集しています。

法人設立から半世紀以上の実績を有し、地域福祉の中核を担う紫雲会で一緒に働いてみませんか。

当法人では高齢者・障害者・児童を対象とする福祉・介護の事業所が11事業所あり、延べ280名の仲間が働いています。資格を有し、正規職員として働いてみようという方、子育て中の方で、短時間の勤務を希望する方など、働き方は柔軟に対応いたします。資格も経験もない方には、働きながら資格を取得できるよう、費用の約半分を助成する仕組みもあり、福利厚生も充実しています。

■お問い合わせは

TEL 0974-24-0011 法人本部まで

【採用時の待遇】年齢や経験に応じて算定されます。

(例) 専門学校卒 23歳 実務経験3年で介護職員

基本給 169,700円

必ず支給される手当

特殊業務手当 15,670円

処遇改善手当 5,000円

特定処遇手当 5,500円

処遇支援手当 4,000円

※夜勤手当 1回8,000円(月約4回)

合計支給額 231,870円(夜勤含む)

※賞与は令和4年度実績で年2回4.65ヶ月分昇給は年1回で毎年4,000円~5,000円程度他に通勤手当、住居手当、扶養手当など支給厚生年金並びに退職金制度あり

令和4年度 社会福祉法人紫雲会 決算報告

貸借対照表

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	1,334,901	流動負債	135,701
固定資産(基本財産)	1,795,821	固定負債	173,170
その他の固定資産	1,198,365	負債の部 合計	308,871
		純資産の部	
		基本金	135,422
		国庫補助金等特別積立金	510,730
		その他の積立金	709,000
		次期繰越活動増減差額	2,665,064
		純資産の部 合計	4,020,216
資産の部 合計	4,329,087	負債及び純資産の部 合計	4,329,087

資金収支計算書

(単位：千円)

科目		社会福祉事業・公益事業
事業活動による収支	事業活動収入	1,480,280
	事業活動支出	1,471,758
	事業活動資金収支差額	8,522
施設整備等による収支	施設整備等収入	3,271
	施設整備等支出	217,619
	施設整備等資金収支差額	△214,348
その他の活動による収支	その他の活動による収入	208,574
	その他の活動による支出	127,995
	その他の活動資金収支差額	80,579
当期資金収支差額		△125,247
前期末支払資金残高		1,408,069
当期末支払資金残高		1,282,822

事業活動計算書

(単位：千円)

科目		社会福祉事業・公益事業
サービス活動増減の部	サービス活動収益	1,464,680
	サービス活動費用	1,566,075
	サービス活動増減差額	△101,395
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益	61,187
	サービス活動外費用	54,803
	サービス活動外増減差額	6,384
経常増減差額		△95,011
特別増減の部	特別収益	1,160
	特別費用	500
	特別増減差額	660
当期活動増減差額		△94,351
前期繰越活動増減差額		2,774,415
当期末繰越活動増減差額		2,680,064
その他の積立金積立額		15,000
次期繰越活動増減差額		2,665,064

事業内容

◆ 第一種社会福祉事業

特別養護老人ホーム紫雲荘
盲養護老人ホーム三国寮

障害者支援施設本城苑

◆ 第二種社会福祉事業

紫雲荘デイサービスセンター
ホームヘルプセンター紫雲
サポートセンターサライ
本城苑作業所Beハウス
グループホームコスモス
紫雲荘ショートステイサービス
放課後等デイサービスぽっけ

◆ 公益事業

介護保険サービスセンター紫雲
就業・生活支援センターつばさ

編集後記

人材確保の難しさは、今や全ての産業に共通する課題で、様々な企業や業界団体が、そのイメージ向上に余念がない。

人材確保における重要な要素として、賃金をはじめとする「労働条件」と、「仕事の魅力」があるだろう。

今回は被災者支援と障がい者の就労支援にスポットを当て、「福祉」という仕事の魅力の一端を伝えたいと考えた。

人を守り、人を支える仕事の魅力が、どうぞあなたに届きますように…。